

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 産業建設分科会		会議場所 全員協議会室
			担当職員 駒田
日 時	令和6年8月6日（火曜日）	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午前 10 時 50 分
出席委員	◎林、○片山、法貴、山木、小川、木村		
出席理事者			
出席事務局	野澤副課長、駒田主任		
傍聴者	市民 0 名	報道関係者 0 名	議員 1 名（齊藤）

会 議 の 概 要

10:00

1 開会

2 事務事業評価対象事業の選定

<林委員長>

事務事業評価対象事業の選定について事務局から説明を。

[事務局主任説明]

<林委員長>

前回の分科会で、各委員に対象事業の抽出をお願いした。事前に抽出した内容を記載した資料に基づき、事業ごとに各委員から抽出した理由や論点とされたい点などを報告願う。まず農業担い手づくり育成事業経費については、昨年度も取り上げたが、さらに拡充してはどうかと思っており、事業の状況を確認したい。

<木村委員>

鳥獣対策事業経費について、事業費が不足しているのではないかと感じる。鳥獣被害も増加している中で、より魅力ある事業に取り組めるよう見直したい。

<山木委員>

森林活用推進事業経費について、森林環境譲与税が活用されていない状況が全国的にあり、市民の関心も高い。亀岡市では木育事業などに活用されているが、その活用方法について見直しできればと考えている。

<林委員長>

同じく、森林環境譲与税の活用について検討するため候補に挙げさせていただいた。

<小川委員>

商工業振興対策経費の産学官連携事業について、内容を改めて精査したい。

<片山副委員長>

同じく産学官連携事業に関して、委員会で視察に行った浜松市や宇部市では、事業者からの相談受付体制などソフト面の充実が進んでいた。オープンイノベーションセンター・亀岡ではハード整備は進んでいるがソフト整備が進んでいないように感じるため事業の状況を見直したい。

<林委員長>

同じく産学官連携事業について、事業費も大きく、今後も継続していく事業であることから検証を行いたい。

<片山副委員長>

観光推進経費の森の京都DMO負担金について、先日行政報告を受けたが、亀岡市として事業費を支出するに当たり民間の旅行会社とはすみ分けるべきだと感じた。森の京都DMOの在り方について検討したい。

<山木委員>

バス交通関連経費について、市内バス交通については今年の6月議会で陳情もあったが、バス路線が長年変わっていない状況があり、地域の実情が変わる中で見直すべきではないかと感じている。また利用促進が必要であり、市民に関心を持っていただくきっかけとしても取り上げさせていただいた。次に道路維持経費については、特に歩道整備の必要性を感じている。街路樹も老木化してきており、より安全な歩道整備を行うため事業を見直したい。

<片山副委員長>

J R千代川駅関連整備事業費について、J R千代川駅自由通路に対する地域住民の期待は大きい。駅舎自体も老朽化し更新の必要性が感じられる中で、整備計画の内容がどれだけ地域住民に対して説明されているか不安がある。地域住民のイメージと、今取り組まれている事業の内容にギャップがあってはならない。事業内容について確認したい。

<法貴委員>

公園緑地整備事業費について、亀岡運動公園プールの指定管理に関する事業費であるが、プールが老朽化していると感じる。釣り針による事故もあったが、より予算を拡充して整備すべきではないかと考えている。

<小川委員>

公園緑地整備事業費（単独）について、開発公園の整備事業に補助金が出ているが、地元地域で遊具等を整備するためにはお金が足りず諦めている状況もあるのではないかと考えている。補助金の申請状況などを確認する中で、事業の見直しを行いたい。

<木村委員>

同じく公園緑地整備事業費（単独）について、開発公園は地元で管理するものであるが、市からの補助金だけでは整備が厳しい状況である。予算額としても不足していると感じており、公園整備促進のためにも補助金の状況を確認したい。

<法貴委員>

空家等対策事業経費について、亀岡市内に空き家が増えている状況の中で予算額が少ないと感じている。より力をいれていただくために見直しを行いたい。

<小川委員>

水道事業会計、施設改良費の水道老朽管耐震化工事費について、水道管の耐震化を促進するためにも、総延長に対してどのような計画で耐震化が進んでいるのか確認したい。次に下水道事業会計、管渠布設費の雨水排水計画関係事業について、今後ゲリラ豪雨等の予期せぬ大雨が発生することも想定される。雨水排水計画に関してはまちづくり推進部で進めている事業もあるが、上下水道部で計画を作り取り組まれている中で、計画に対する進捗状況について確認したい。

<林委員長>

今出た意見の中から2～3項目程度に絞り込みたいが意見はあるか。

<小川委員>

農業担い手づくり育成事業経費の新規就農者育成総合対策経費については、京都府の補助事業でもあるため事務事業評価の対象事業として選定しづらい。また商工業振興対策経費の産学官連携事業については、ハード整備を想定して候補としたが、ソフト面を取り上げるのであれば取り下げてもよい。またＪＲ千代川駅の整備については事業がスタートしたところであり、決算として評価を行うのではなく、今後の動向を注視していきたい。

<木村委員>

商工業振興対策経費の産学官連携事業については、オープンイノベーションセンター・亀岡開設に係る数年間の事業費は確定している経過もある。今後の動向を見守るべきであり、事務事業評価対象事業としては適していないと感じる。

<片山副委員長>

公園緑地整備事業費（単独）における開発公園関連事業については私自身関心が高い項目であり、地域こん談会などでもよく取り上げられている。地元の区が管理されているが、単純に予算額を増やしても補助率が変わらなければ地元負担は今までと変わらない。開発公園の管理方法については執行部と議論していかなければならない。

<木村委員>

開発公園を全て市で管理するのは難しいと思うが、例年予算が少なすぎる。地元負担も承知しているが、少しずつ予算を増やし、地域住民の交流の場としても公園整備を進めていかなければならない。補助率の見直しも検討していくべきである。

<林委員長>

開発公園の整備については、事業について検証した上で市と地元の両者が納得できる形を考えていきたい。事務事業評価対象事業の一つとして、公園緑地整備事業費（単独）を選定してよいか。

（全員了）

<片山副委員長>

まちづくり推進部から公園緑地整備事業費（単独）を選定したが、他に産業観光部、上下水道部から１事業ずつ選定してはどうか。産業観光部からは森林活用推進事業費か商工業振興対策経費のどちらか、また上下水道部からは提案されている２事業のうち１事業を選定してはどうかと考えている。

<法貴委員>

森林活用推進事業経費について、山木委員からも意見があったが、森林環境譲与税があまり活用されていない状況が全国的にも問題になっている。森林整備は鳥獣被害の対策にもつながることから、より有効な活用方法を考えるためにも見直しを行いたい。

<林委員長>

森林活用推進事業経費を選定することとしてよいか。

（全員了）

<林委員長>

水道事業会計、下水道事業会計における事業について意見はあるか。

<片山副委員長>

雨水排水計画においては、ほ場整備事業以外の事業も含まれているのか。

<小川委員>

ほ場整備以外にも整備されている箇所があるかと思う。計画の内容と、進捗状況について確認していきたい。

<法貴委員>

ゲリラ豪雨対策としても雨水排水計画関係事業について確認したい。

<林委員長>

下水道事業会計、管渠布設費における雨水排水計画関係事業を選定することとしてよいか。

(全員了)

<林委員長>

今年度の事務事業評価対象事業は、「森林活用推進事業経費」、「公園緑地整備事業費(単独)」、下水道事業会計における「管渠布設費(雨水排水計画関係事業)」の3つとしてよいか。

(全員了)

<林委員長>

決算審査を行うに当たり、現地視察を行うことについて意見はあるか。

(意見なし)

<林委員長>

現地視察は行わないということによいか。

(全員了)

3 その他

<林委員長>

次回の日程について、事務局から説明を。

<事務局主任>

事前の勉強会や論点整理には、実際に使用する調書でもって行うのが望ましい。

その調書の提出を待って勉強会や論点整理を行ってはどうか。次回開催日を決定願いたい。

<林委員長>

次回開催日は、勉強会を9月4日(水)午前10時から、論点整理を9月19日(木)の議案審査後としてよいか。

(全員了)

～散会10:50